ゴールテープを切るための支え

校　長　佐々木　秀之

暦の上ではもうすぐ啓蟄を迎えようとしています。本年度は、5 月に新型コロナによる行動制限が解除されたとはいえ、新型コロナやインフルエンザによる学級閉鎖を複数回行った学級もありましたが、何とか 3 月までたどり着きました。ご家庭での健康管理に感謝申し上げます。

さて、来る 3 月 3 日（日)、東京マラソン 2024 が開催されます。車いすマラソンを含む全出走者数は 3 万 8000 人。記録への挑戦や大切な人への感謝の気持ちなど、それぞれの思いを抱きながら早春の首都東京を駆け抜け、最後はスタートから 7 時間後にゴールが閉鎖されます。

東京マラソンは、規模・参加者数ともに日本一を誇りますが、ボランティア、観客数もまた日本一です。東京マラソンを支えるボランティアの総称を「TEAM SMILE」というそうです。ホスピタリティあふれる「TEAM SMILE」は、東京マラソンの象徴のような存在です。ランナーのフィニッシュへ続く長い道程を、そのあたたかい心と笑顔で支えてくれます。沿道で応援する人はもちろん、そこに居合わす買い物客や観光客を含めた 130 万人以上もの観客が、ランナーにあたたかい声援を送ります。

ボランティアの活動は、ランナーの受付や荷物預かり、案内、給水・給食、ごみ収集、沿道の観客整理、広報、障害のある方の介助、フィニッシュしてきたランナーの計時チップ切り取り、メダル配布、棄権者の誘導など、ありとあらゆる役割を担っているそうです。

しかも舞台は公道。大都市東京の中枢機能である道路をシャットアウトしてランナーが一斉に駆け抜けるため、付近に住んでいる人や、交通規制を受ける人、社会への影響は大きなものであり、後片付けにも完璧さが求められるそうです。元どおりに戻さなければ、東京マラソンの評判を落とすことになりかねません。ボランティアは大会になくてはならない参加者と言われています。

本年度のゴール閉鎖まで残り 15 日となりましたが、子供たち全員が 4 月のスタート前に立てた目標の「ゴールテープ」を切ることができるよう、支えてまいります。